

北海道小樽水産高等学校
漁師の仕事! 知る授業

3 月 19 日、北海道小樽水産高等学校において、漁業ガイダンス「漁師の仕事!知る授業」が開催された。このガイダンスは、漁船漁業の根幹を成す日本人漁船員と船舶職員の後継者確保・育成を目的として、全国漁業就業者確保育成センターが主体となって、全国の水産高校で開催されている。

ガイダンス当日は、本科海洋漁業科 2 年生 20 人が参加して、ガイダンスに参画した漁業会社のブースで、説明を受けた。ブースは各漁業別に「捕鯨操業の特色や船型を紹介」「遠洋まぐろ延縄の操業形態を紹介」「大中型まき網および海外まき漁業の操業形態と漁獲する魚種を紹介」など。それぞれ 15 分間の説明の中で、担当者が生徒たちの質問に答える形で、順次ブースを移動した。

参加企業は、船内での生活や仕事について、動画や画像のほか、現役漁船員の体験談を交えて説明を行った。生徒たちからは、海技士免状の取得について、給料の水準、休漁期の居住地一などの質問が多く出され、船員職業に関心を示す積極的な生徒が多く見受けられた。

最後に参加した生徒の代表者が感想と感謝を述べた後、事務局から、今後も継続して漁業ガイダンスを開催したいと述べて、終了した。

「海員だより」